

野蒜復興新聞

第2回野蒜まちづくり計画策定ワークショップ 地域資源を活かした可能性

- ① 地域と学校で食の祭典
- ② 地域を花いっぱい
- ③ 里山の活用

3つのグループに分かれて意見を申し合いました。



11月8日(日)、第2回野蒜まちづくり計画策定ワークショップが開催されました。今回は9月に開催された第1回目において出された意見をふまえて、野蒜まちづくりの夢とその実現に向けて何ができるかという具体的な計画を18名の参加者が3グループに分かれ、話し合いました。Aグループでは、地域と学校が連携し、食の祭典で特産品を作り、野蒜らしさを出せばどうかという意見が出ま

た。Bグループでは、旧野蒜駅にたくさん人が集まるので、その周辺を花で一杯にする等、既存の植栽又は緑化活動を拡大する意見が出ました。Cグループは野蒜の豊かな自然に着目し、里山の活用について意見が出ました。今回の計画に住民がどう参加するか、仕組みづくりを今後考えます。次回12月13日(日)は『まちづくりへの住民参加の仕組みづくり』のテーマで第4回野蒜まちづくり計画策定検討委員会を開催します。ワークショップの最後にグループ毎にまとめた意見を発表して頂きました。



第8回野蒜まちづくり協議会役員会

11月20日(金)、第8回野蒜まちづくり協議会役員会が開催されました。本会では、今後、野蒜地域におけるコミュニケーションの作り方について話し合われました。

今後、協議会として、昨年度末に実施されたアンケート調査結果を尊重しながら、各自治会長を中心とし、各地区民の意向を確認・尊重する方針が決定いたしました。

復旧復興事業住民説明会

10月29日(木)、復旧復興事業住民説明会が開催されました。市から20名、地域から80名の参加がありました。国・県・市関係事業について、現時点で進行している整備状況と、将来的な事業について説明がありました。鳴瀬川河口部堤防整備の状況について、全体の約8割が完成したことが報告されました。併せて、東名運河沿いの土地利用についても参加した住民から意見がありました。

イモニウオーク奥松島2015開催

11月3日(火)文化の日、イモニウオーク奥松島2015が開催されました。このイベントは、野蒜と宮戸の奥まった魅力を発信することを目的に、東松島市とバンド・アチェ市(インドネシア)のJICA草の根技術協力事業の一環として実施されました。奥松島を自由に見物しながら、10の地点でスタンプを集めるイベントです。国内外から60名の参加があり、振舞いの芋煮を食べ、ゆっくりと秋の奥松島を楽しんでいる様子でした。



スタートは野蒜市民センター

